

# 高等学校教育実習

教職課程科目／2 単位／J 授業

## ◆参考テキスト

山崎英則(編著)『教育実習完全ガイド』ミネルヴァ書房

※スクーリングにおいては参考程度にしか使用しないが、あらかじめ各自熟読したうえで疑問点については質問のうえ、十分理解したうえで実習に臨みたい。

## 講義概要・一般目標

教育実習は、観察・参加・実習という方法で教育実践に関わることを通して、教育者としての愛情と使命感を深め、将来教員になるうえでの能力や適性を考えるとともに課題を自覚する機会である。

一定の実践的指導力を有する指導教員のもとで体験を積み、学校教育の実際を体験的・総合的に理解し、教育実践ならびに教育実践研究の基礎的な能力と態度を身に付ける。

1) 生徒の学習環境等に対して適切な観察を行うとともに、学校実務に対する補助的な役割を担うことを通して、教育実習校の生徒の実態と、これを踏まえた学校経営及び教育活動の特色を理解する。

2) 大学で学んだ教科や教職に関する専門的な知識・理論・技術等を各教科や教科外活動の指導場面で実践するための基礎を修得する。

## 到達目標

- 1) 生徒との関わりを通して、その実態や課題を把握することができる。
- 2) 指導教員等の実施する授業を視点を持って観察し、事実即して記録することができる。
- 3) 教育実習校の学校経営方針及び特色ある教育活動並びにそれらを実施するための組織体制について理解している。
- 4) 学級担任や教科担任等の補助的な役割を担うことができる。
- 5) 学習指導要領及び生徒の実態等を踏まえた適切な学習指導案を作成し、授業を実践することができる。
- 6) 学習指導に必要な基礎的技術（話法・板書・学習形態・授業展開・環境構成など）を実地に即して身に付けるとともに、適切な場面で情報機器を活用することができる。
- 7) 学級担任の役割と職務内容を實地に即して理解している。
- 8) 教科指導以外の様々な活動の場面で適切に生徒と関わるすることができる。

## 評価方法

実習校による評価を最大限に尊重し決定する。